

三浦市立初等中学校 2年

研究テーマ

わたしたちが学んだ「海」

概要

海洋学習係を発足させ、学校近くで捕れたウナギの飼育を行っている。その生態や特性を観察した。

理科の時間では「煮干しの解剖」「イカの解剖」を行い、その内臓を観察し、その様子をまとめた。

職場体験では、三崎臨海実験所に行き、研究の一端を体験した。今回は、ホヤの飼育の補助、生物標本の整理、SEM撮影などの体験を中心に行った。

展示・発表で注目してほしいところ

普段の授業や活動の成果として、今年はいちごの解剖とウナギを取り上げました。

国が生命現象の研究に対して重要だと考えている実験動物を集め、保存し研究機関へ提供する事業の一環として、ホヤを育てている(三崎臨海実験所)。  
キーワード:ウナギ、三崎臨海実験所、ホヤ

神奈川県立海洋科学高等学校

研究テーマ

未利用資源の有効活用と藻場の再生

概要

本校では、『海をきれいに・海を豊かに・仲間と繋がる』をスローガンとして平成17年からアマモの移植活動を小田和湾や東京湾で行ってきた。特に近年の相模湾は磯焼けが深刻な問題になっており、藻場の再生は急務である。

そこで本研究では、藻場の生育に最適な環境を探るために水質調査(pH、溶存酸素、塩分、水温)を行い、藻場の再生につながる基礎的なデータの収集をした。さらに、ワカメやカンメの安定供給を目指しフーリ配個体の培養を試みた。また、藻(荻)類を食する生物の有効活用についても考えた。

展示・発表で注目してほしいところ

継続して行っている水質調査の結果から考察し、今後の藻場の再生に必要な手立てを模索している。また、未利用資源のアイゴでは、商品化と知名度向上に向けた取組を積極的に行った。

2019年度

# 海洋教育 こどもサミット in みらら

2020年2月8日(土) 三浦市立上宮田小学校体育館

## 次第

13:00 開会のことば

あいさつ  
あいさつ

(みらら学・海洋教育研究所代表理事)  
(三浦市長)

13:15 ステージ発表

(剣崎小学校)  
(初声小学校)

13:45 休憩、準備

13:55 ポスターセッション①

1回目 A 三崎小学校、B 岬陽小学校  
2回目 B 岬陽小学校、C 名向小学校  
3回目 A 三崎小学校、C 名向小学校

ポスターセッション②

1回目 A 上宮田小学校、B 南下浦小学校  
2回目 B 南下浦小学校、C 旭小学校  
3回目 A 上宮田小学校、C 旭小学校

ポスターセッション③

1回目 A 三崎中学校、B 南下浦中学校  
神奈川県立海洋科学高等学校  
2回目 B 南下浦中学校、C 初声中学校  
神奈川県立海洋科学高等学校  
3回目 A 三崎中学校、C 初声中学校  
神奈川県立海洋科学高等学校

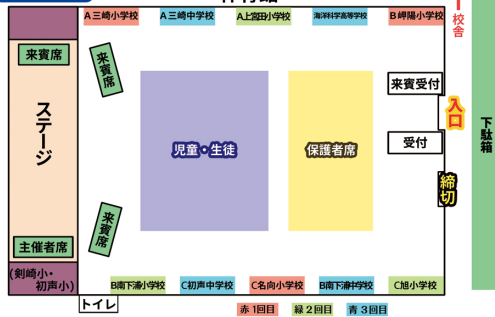
15:30 講評 (国立大学法人東京大学大学院教育学研究科  
附属海洋教育センターより)

15:40 閉会のことば

司会: 初声中学校生徒

## 会場図

### 体育館



主催: 一般社団法人みらら学・海洋教育研究所

共催: 公益財団法人日本財団

後援: 三浦市教育委員会

協力: 国立大学法人東京大学大学院教育学研究科附属臨海実験所

NPO法人小嶋代パル海洋隊

NPO法人小嶋代野外活動調整会議

NPO法人オーシャンファミリー 海洋自然体験センター

三浦 YMCA グローバル・エコ・ウィレッジ

国立大学法人東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター

逆子市教育委員会

三浦市学校教育研究会

三浦市学校教育研究会

三浦市学校教育研究会

三浦市学校教育研究会

三浦市学校教育研究会

公益社団法人鎌倉自然博物館

神奈川県立海洋科学高等学校

Telacoya LABO

